

調査実施計画書の記載要領

様式2 山口県地域循環圏活性化事業計画書

1 補助事業の内容

| | |
|------------|---|
| 事業の名称 | (例)「〇〇廃棄物を活用した地域循環圏の形成に向けた調査」など |
| 連携事業者名 | 地域循環圏に携わるリサイクル事業者、製造者、販売者、生産者など連携して調査を実施するすべての事業者名を記載ください。 |
| 有効活用する廃棄物等 | 地域で発生し、有効活用を図る産業廃棄物（一般廃棄物）、未利用資源を記載ください。(例)「食品廃棄物」「廃石膏ボード」「廃プラ」など |
| 現状の問題点 | (例)「現在、□□の製造業から発生する〇〇廃棄物を△△施設により処理し、リサイクル製品として××を生産・販売しているが、施設能力に余裕があり、生産量を増やしたい。しかし、〇〇廃棄物は焼却処理している事業者が多く、リサイクルルートに集まらず、また××は競合する市販品が安価なため、販売先も増えない。」など |
| 補助事業の目的 | (例)「〇〇廃棄物を焼却からリサイクルに回すための方策やリサイクル製品の販売を増やすための方策を検討する。」など |
| 補助事業の概要 | (例)「〇〇廃棄物の発生量、焼却費用、収集運搬費用を調査し、リサイクル量を増やすための費用設定や効率的な回収のための拠点の設置場所選定を行う。また、××と市販品の性能を比較し、費用対効果の検証を行った後、販路拡大に向けた宣伝方法を決定する。」など |
| 期待される事業効果 | (例)「〇〇廃棄物の回収拠点を設置することにより、焼却費用と対等あるいは少し高い程度のリサイクル料金を設定することができ、受入量の増加が見込める。また、××の有効性を啓発することにより、販売促進が可能となる。その結果、〇〇廃棄物を活用した地域循環圏が活性化される。」など |
| 補助対象事業費 | 『2 補助事業の予算及び補助対象事業費明細』の支出合計額に一致 ※ 消費税は補助対象外のため、消費税抜きの金額を記載ください。 |
| 補助金額 | 補助対象事業費に1/2を乗じた金額以内（千円未満は切り捨て） |

2 補助事業の予算及び補助対象事業費明細

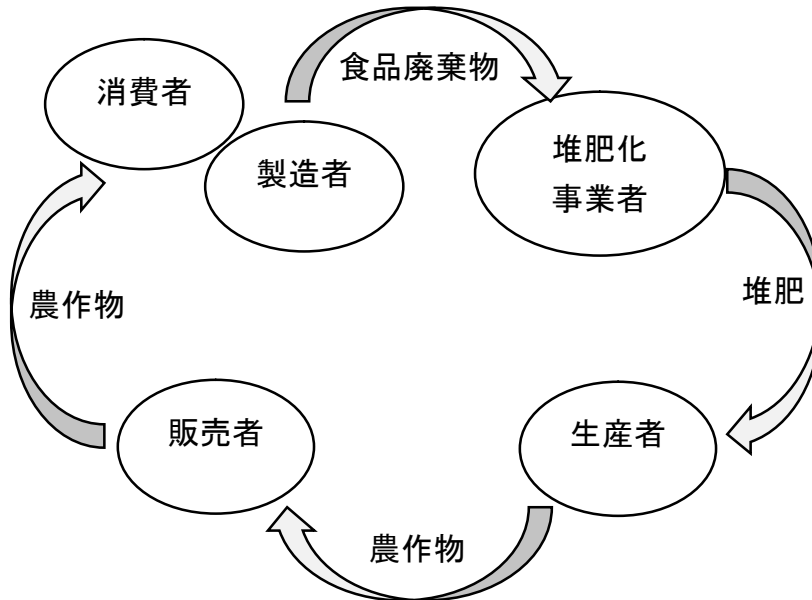
| | |
|----|--|
| 収入 | 借入金、その他は、内容欄に調達先等を記載ください。 |
| 支出 | <ul style="list-style-type: none"> ・各区分の明細を積算内訳欄に記載ください。 ・単価がわかる資料（見積書、カタログなど）を添付してください。 |

様式3 補助事業内容説明資料

1 目指すべき地域循環圏

連携する事業者、廃棄物等やリサイクル製品等の動きなど、全体の流れを図示してください。

(例)



2 現状の廃棄物等の入手先・種類・量、及びリサイクル製品の販売先・種類・量など

・リサイクル事業者が現在受け入れている廃棄物や未利用資源の入手先、種類、量を具体的に記載ください。

・リサイクル事業者が現在販売しているリサイクル製品の販売先、種類、両を具体的に記載ください。

3 事業の実施体制

・事業全体を統括する組織体制を記載ください。

・実施する調査項目を示し、各事業者の役割、調査担当責任者、具体的な実施方法を記載ください。

4 事業のスケジュール

調査着手（8月頃）から調査完了・実績報告書提出（3月25日締切）までのスケジュールを調査項目ごとに記載ください。